

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成24年10月11日(2012.10.11)

【公表番号】特表2012-500847(P2012-500847A)

【公表日】平成24年1月12日(2012.1.12)

【年通号数】公開・登録公報2012-002

【出願番号】特願2011-524986(P2011-524986)

【国際特許分類】

A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 K	38/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/675	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 K	39/395	(2006.01)
C 0 7 K	14/47	(2006.01)
C 0 7 K	16/00	(2006.01)
C 0 7 K	16/46	(2006.01)
C 0 7 K	19/00	(2006.01)
C 0 7 K	16/18	(2006.01)
C 0 7 K	14/705	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	45/00	
A 6 1 K	37/02	Z N A
A 6 1 K	31/675	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	43/00	1 2 1
A 6 1 K	39/395	D
A 6 1 K	39/395	N
C 0 7 K	14/47	
C 0 7 K	16/00	
C 0 7 K	16/46	
C 0 7 K	19/00	
C 0 7 K	16/18	
C 0 7 K	14/705	

【手続補正書】

【提出日】平成24年8月23日(2012.8.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

薬学上許容される担体中にT細胞上でProgrammed Cell Death-1(PD-1)に結合する化合物および増強剤を含んでなり、該化合物および該増強剤が哺乳類においてT細胞応答を増強するのに有効な量でともに存在する、治療組成物。

【請求項2】

前記化合物が、

(a) 第一および第二のペプチド部分を含んでなり、該第一のペプチド部分が P D - 1 結合ポリペプチドの有効断片を含んでなり、該第二のペプチド部分が免疫グロブリン (Ig) の一部を含んでなる、融合タンパク質、

(b) その有効断片を含む抗 P D - 1 抗体、

(c) P D - 1 結合ポリペプチド、および

(d) (a)、(b)、および(d)のいずれか 2 以上の組合せからなる群から選択される、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

前記増強剤がシクロホスファミドまたはシクロホスファミドの類似体である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 4】

前記増強剤がスニチニブ (SUTENT)、抗 TGF またはイマチニブ (GLEEVE AC)、アントラサイクリン、オキサリプラチン、ドキソルビシン、TLR4 アンタゴニスト、および IL - 18 アンタゴニストである、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 5】

抗 B7 - H1 抗体、抗 B7 - DC 抗体、抗 CTLA4 抗体、有糸分裂阻害剤、アロマターゼ阻害剤、A2AR アンタゴニスト、および脈管形成阻害剤からなる群から選択される少なくとも一つの付加的薬剤を投与することをさらに含んでなる、請求項 1 の組成物。

【請求項 6】

T 細胞において阻害的シグナル伝達を低減する化合物を増強剤と組み合わせて投与するための医療用キットであり、

(a) T 細胞において阻害的シグナル伝達を低減する化合物の投与供給源、

(b) 増強剤供給源、

(c) 薬学上許容される担体の供給源、および

(d) 請求項 5 に記載の使用において化合物を投与するための説明書を含んでなる、キット。

【請求項 7】

第一および第二のペプチド部分を含んでなる融合タンパク質を含む治療組成物であって、該第一のペプチド部分が配列番号 1 のアミノ酸 20 ~ 221 または 20 ~ 121 のアミノ酸配列を含んでなり、かつ該第二のペプチド部分が免疫グロブリン (Ig) の一部および薬学上許容される担体中に増強剤を含んでなり、ここで融合タンパク質および増強剤が哺乳類において T 細胞応答を増強するのに有効な量でともに存在する、組成物。

【請求項 8】

第一および第二のペプチド部分を含んでなる融合タンパク質を含む治療組成物であって、該第一のペプチド部分が B7 - DC、B7 - H1、P D - 1、もしくは B7 - 1 の細胞外ドメインまたは保存的アミノ酸置換のみによりそれらと異なるポリペプチド、およびこれらの断片からなり、かつ該第二のペプチド部分が免疫グロブリン (Ig) の一部および薬学上許容される担体中に増強剤を含んでなり、ここで融合タンパク質および増強剤が哺乳類において T 細胞応答を増強するのに有効な量でともに存在する、組成物。

【請求項 9】

前記 B7 - DC がヒト B7 - DC である、請求項 8 に記載の治療組成物。

【請求項 10】

抗 P D - 1 抗体、抗 B7 - H1 抗体、抗 B7 - DC 抗体、抗 CTLA4 抗体、有糸分裂阻害剤、アロマターゼ阻害剤、A2AR アンタゴニスト、および脈管形成阻害剤からなる群から選択される付加的薬剤を更に含む、請求項 7 ~ 9 のいずれか一項に記載の治療組成物。

【請求項 11】

前記増強剤がシクロホスファミドまたはシクロホスファミドの類似体である、請求項 7 ~ 10 のいずれか一項に記載の治療組成物。

【請求項 12】

前記増強剤がスニチニブ(S U T E N T)、抗 T G F またはイマチニブ(G L E E V A C)、アントラサイクリン、オキサリプラチン、ドキソルビシン、T L R 4 アンタゴニスト、および I L - 1 8 アンタゴニストである、請求項 7 ~ 1 0 のいずれか一項に記載の治療組成物。

【請求項 1 3】

前記化合物が、

(a) 第一および第二のペプチド部分を含んでなり、該第一のペプチド部分が P D - 1 アンタゴニストポリペプチドの有効断片を含んでなり、かつ該第二のペプチド部分が免疫グロブリン(I g)の一部を含んでなる、融合タンパク質、

(b) その有効断片を含む抗 B 7 - H 1 抗体、

(c) その有効断片を含む抗 B 7 - D C 抗体、

(d) B 7 - H 1 結合ポリペプチド、

(e) B 7 - D C 結合ポリペプチド、および

(f) (a)、(b)、(c)、(d)、および(e)のいずれか 2 以上の組合せからなる群から選択される、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 1 4】

抗 P D - 1 抗体、抗 C T L A 4 抗体、有糸分裂阻害剤、アロマターゼ阻害剤、A 2 A R アンタゴニスト、および脈管形成阻害剤からなる群から選択される付加的薬剤を更に含む、請求項 1 3 に記載の組成物。

【請求項 1 5】

前記増強剤がシクロホスファミドまたはシクロホスファミドの類似体である、請求項 1 3 に記載の組成物。

【請求項 1 6】

前記増強剤がスニチニブ(S U T E N T)、抗 T G F またはイマチニブ(G L E E V A C)、アントラサイクリン、オキサリプラチン、ドキソルビシン、T L R 4 アンタゴニスト、および I L - 1 8 アンタゴニストである、請求項 1 3 に記載の組成物。